【取扱い上の注意】

●スーツケースは衣類・日用品小物の収納、持ち運び以外には使用しないでください。
●お子様の遊び用具として使用しないでください。
●ペットを中に入れないでください。
●踏み台・椅子・杖・歩行補助具の代わりとして使用することは危険ですのでおやめください。転倒など思わぬ事故につながるおそれがあります。
●不安定な場所には保管しないでください。
●棚などの高い所に置く場合は、落下しないよう十分ご注意ください。落下したスーツケースが衝突し、重大な人身事故につながるおそれがあります。
●キャスター走行時は周囲の人や物に注意してください。
●持ち上げる際は、必ず本体ハンドルをお持ちください。
（キャリーバーを持ってスーツケースを持ち上げないでください。）
●段差や階段のある場所での無理なキャスターのご使用は危険です。破損や転倒のおそれがありますので、スーツケースの本体ハンドルを持ってご使用ください。
●お子様がスーツケースを使用する際は、事前に保護者の方が本書を必ず全て読み、使用上の注意事項をお子様によく指導してください。
●スーツケースを梱包している袋などをかぶらないでください。
●本体やファスナーの開閉時に手や衣類をはさまないようご注意ください。
●本体を開く際には、ファスナーが最後まで開いていることを確認してください。ファスナーが最後まで開いていない状態で本体を開くと、ファスナーが破損するおそれがあります。
●走行直後のキャスターにふれないでください。摩擦熱により、やけどするおそれがあります。
●破損、汚れの原因となるおそれのあるガラス瓶やその他の容器類の収納時には、割れたり中身が漏れないように十分注意してください。
●火の近くや高温になるところには置かないでください。
●スーツケースは防水ではありません。雨水などがしみ込むおそれがありますので、雨中に放置しないでください。
●鋭利な形状の物と接触しないようご注意ください。
●現金や貴重品の保管には使用しないでください。ファスナーロック機能は内容物の盗難や、ケース自体の盗難を防止するものではありません。
●本製品は中に入れる機器を衝撃によるキズや破損から完全に保護するものではありません。ご使用の機器本体の損傷、破損、故障、紛失及びデータの破損、消滅などについては一切責任を負いかねます。予めご了承ください。
●本製品が破損した場合は、使用を中止してください。
●スーツケースの分解や、改造はしないでください。

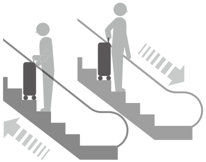
●スーツケース内部には、引き手のついていないファスナー部分があります。これは修理をする際に使用するものであり、ポケットとして使用することはできません。
●スーツケースの耐久性は使用回数や経過年数も影響しますが、使用中に受ける衝撃など取扱いの状態に特に大きく左右されます。
●キャスターは使用頻度や路面の状況により摩耗の度合いが異なります。
また素材の特性上、経年劣化はさけられません。
●ボディやキャスター等の樹脂製部品は、直射日光や使用・保管状況により色あせや劣化が生じることがあります。
●過度な衝撃や負荷が加わった場合、変形や破損が生じることがあります。
●荷物の詰め込みすぎは破損につながるおそれがあります。
●荷物はなるべく均等に詰めてください。極端な荷重の偏りによって本体やパーツに過度な負荷がかかり破損するおそれがあります。
●変形するほど荷物を詰めた場合、手荷物検査を通らなくなる場合があります。
●このスーツケースは機内持ち込み可能とされるサイズ規定に合わせてつくられていますが、航空会社や搭乗される機材によって機内に持ち込めるサイズの規定は異なる場合があります。搭乗日までに利用する航空会社の詳しい規定をご確認ください。
●破棄する際は、各自治体の指示に従い分別してください。

【お手入れ】

●風通しの良いところで保管してください。ビニール袋やダンボール箱に入れた状態での保管はボディやキャスター等樹脂製部品の劣化を早めるおそれがあります。
●直射日光、雨、雪、高温多湿の環境をさけて保管してください。
●蛍光灯に近い場所をさけて保管してください。
●強い酸性や塩分、極端に高い温度にさらされる場所での保管や長時間の使用はさけてください。素材を傷めるおそれがあります。
●普段のお手入れは水拭きした後十分乾燥させて保管してください。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。
●ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤、酸やアルカリ性の洗剤などは使用しないでください。
●たわし・みがき粉でみがくとキズがつくことがありますのでさけてください。
●水に濡れた場合はよく乾燥させてから保管してください。
●キャスターに付着した砂やホコリ、糸くずは故障の原因となりますので取り除いてください。
●購入直後に、においが気になる場合は陰干しをしてください。またご使用されている間に、においは自然に薄くなります。

【スーツケースの安全マナー】

●周囲、特に自分の後方に気を配り、他の歩行者の安全に気をつけて行動してください。
●バッグはできるだけ体に近づけるようにしてください。体の横で横向きの四輪走行を心がけてください。
●急に立ち止まったり、急な方向転換をすることは事故に繋がりやすいので、十分ご注意ください。
●携帯電話を見ながら歩くと、周囲への注意がおろそかになり大変危険です。十分ご注意ください。
●旅行先などで、集団で道幅いっぱいに並んで歩くことは、周囲の通行の妨げになりますのでおやめください。



●エスカレーターでは自分の前（上り）・自分の後（下り）にバッグを置き、ハンドルから手を離さないようにしてください。スーツケースの落下は、重大な人身事故につながるおそれがあります。また、エスカレーターのベルトをしっかり握り、自身が転倒などしないようにご注意ください。

●キャリーバーを引っ張って階段などを昇り降りしないでください。

●移動している車両の中や坂道では、スーツケースが不意に動く可能性があります。事故の原因となりかねませんので、手を離さないようにご注意ください。
●車内でスーツケースを置く場合は、振動で動いたり倒れたりしないように端に寄せる、寝かせて置くなど、置き方に配慮してください。
※ストッパー機能があるスーツケースは、ストッパーを ON にしてください。

●荷物を入れたバッグは想像以上に重くなります。網棚に載せる場合、上げ下ろしの際には、他のお客様に配慮し、十分ご注意ください。
●網棚など高所からスーツケースが落下した場合、ケガをしたり、ケース自体の破損、または内容物の損傷につながります。ケースの置き方には十分ご注意ください。

【TRAVEL SENTRY® LOCK について】

このTravel Sentry® 認可ロックであなたの預け手荷物は精査が必要な場合でも検査機関が安全に解錠検査し再施錠してくれます。

TS ロックとは、アメリカ、カナダ、日本などの 600 を超える各国の空港で認められている、スムーズに手荷物を解錠、検査できるロックシステムです。

< X 線検査により不審物が入っているとみなされた場合 >

●TSロックを採用していない荷物では、鍵を切断、破壊して荷物を開け検査します。
●TSロックを採用している荷物では、各空港のTS 職員が特殊ツールによって解錠して検査します。検査後は施錠して戻します。
●緊急の場合など検査の状況によっては、TS職員が鍵を壊すことも皆無ではありません。予めご了承ください。
●日本からの出国の際は各航空会社によって対応が異なり、TSロック搭載のスーツケースでも解錠して預けることを求められる場合があります。

【破損について】

●旅行傷害保険にご加入し、旅行中に破損があった場合はご加入の保険会社へご相談ください。
●航空会社へお預けの際に破損があった場合はすみやかにその場で航空会社にご相談ください。ご相談される期日は航空会社の運送約款によりますのでお確かめください。

【アフターサービス】

製品は、ひとつひとつ入念な品質テストをクリアして、お手元にお届けいたしておりますが、万一不具合が生じた場合はお買い求めの店舗へご相談ください。

【保証規定】

保証期間中に、通常使用において不具合が生じ、製造工程や部品などに問題や欠陥があったとみなされた場合、無償にて修理または交換させていただきます。但し、お買い上げのスーツケースが破損し、通常の使用ができなくなった場合、以下の事項に関しましては、対応できるものに限り保証期間内であっても有償での修理となります。

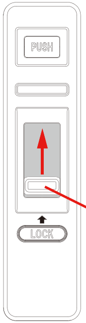
●本書がない場合、店印、レシートなどのお買い上げ日付を証明するものがない場合、あるいは加筆修正の痕跡がある場合
●火災、地震、風水害、塩害、公害、その他の災害や戦乱など、外的な要因で生じた不具合
●ケースの破損や損失によって生じる交通費、宿泊費などといった付随する費用に関する損害
●盗難、置き忘れ、紛失
●落下、誤用、乱用による不具合
●分解、改造、誤った修理により生じた損傷
●航空会社その他交通機関の輸送中に不当な扱いや誤用によって生じた破損又は表面的な損傷
●高温、高湿、溶剤、酸、塩分、過度の衝撃や負荷による変形や破損
●製品の不具合に起因する付随的な損害
●通常使用における表面的な損傷(摩耗､すり傷､キレ､へこみ､汚れ､退色など)
●通常使用におけるパーツ部分の劣化、損傷、摩耗

保証範囲外、保証期間を過ぎた製品につきましては、お買い求めの店舗へご相談ください。

【前輪ストッパーのご使用方法】

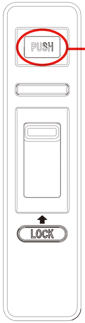
［ストッパーOFF（解除）の状態］
＝走行時の状態

［ストッパーON（ロック）の状態］
＝ストップ時の状態



①スライドボタン

①のスライドボタンを矢印の方向にスライドするとキャスターがロックされます。



②ロック解除ボタン

ストッパー ON（ロック）の状態で②のロック解除ボタンを押すとロックが解除されます。

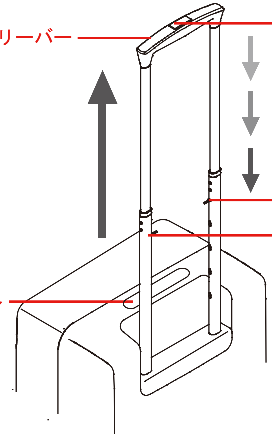
※ストッパーONの状態でも
前輪2輪を浮かせると
走行可能です。

【前輪ストッパー取扱い上の注意】

●４輪走行時は、必ずストッパー機能を解除のうえご使用ください。そのまま走行されますと、本体の破損につながるおそれや、状況によってはケガをしてしまう可能性があります。
●ロック機能は、スーツケースの動きを止める補助機能です。ロック状態でも坂道などの傾斜、電車やバスなど乗り物での突然の揺れにより転倒するおそれがありますので手を添えるなど取扱いにはご注意ください。
●操作はスーツケース本体が完全に止まっていることを確認してから行ってください。
●航空会社などにケースを預ける際は、必ずロックを解除してください。転倒や破損の原因になります。
●長時間ケースを使用しない場合には必ずロックを解除してください。長時間テンションがかかった状態により、ストッパーがかかりにくくなるおそれがあります。
●荷物が内部のワイヤーを圧迫することにより、ロックが掛かることがありますのでご注意ください。
●操作の際は指や爪、服などをはさまないようにご注意ください。

【キャリーバーのご使用方法】

キャリーバーの長さを調整するときは、プッシュボタンを押しながら
一度バーを最長状態まで引き出し、下げながら長さを調節してください。

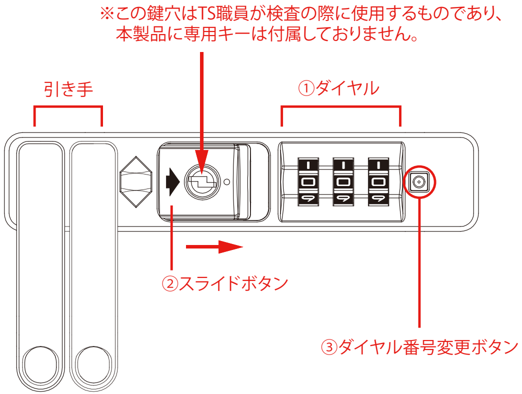


※ピンが左右とも
出ていることを確かめてから、
ご使用ください。

【キャリーバー取扱い上の注意】

●キャリーバーに体重を掛けますと、転倒する危険性がありますのでおやめください。
●キャリーバーのハンドルは、走行用のハンドルです。このハンドルでスーツケースを持ち上げないでください。破損の原因になります。スーツケースを持ち上げる際は、必ず本体ハンドルをご使用ください。
●キャリーバーを上げ下げする際は、パイプの連結部分や本体との間に指などを挟まないようご注意ください。
●キャリーバーには多少のあそびがありますが、これはハンドルの動きをスムーズにするためのものです。
●キャリーバーを下方向に力を加えながら左右に揺らすとピンが戻ってハンドルが下がってしまう場合がありますのでご注意ください。

【ファスナーロック(ノーマルタイプ)のご使用方法】



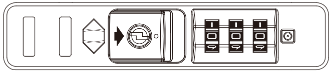
●解錠方法

①のダイヤルを回し、登録のダイヤル番号に合わせます。ご購入時は 0-0-0 に登録されています。②のスライドボタンを矢印の方向に押すと、引き手が外れ、ファスナーを開けられます。

●施錠方法

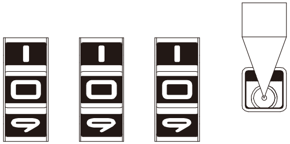
引き手を挿し込み、登録番号以外に回すと「施錠」されます。

●ダイヤル番号登録手順



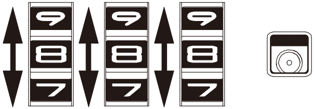
手順 1

左記の方法でファスナー引き手を外します。※設定完了までファスナー引き手をロックの溝に差し込まないでください。



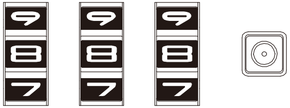
手順 2

ペン先など先の細いものを使い、③ダイヤル番号変更ボタンを押し込みます。



手順 3

①のダイヤルを任意の番号に回します。

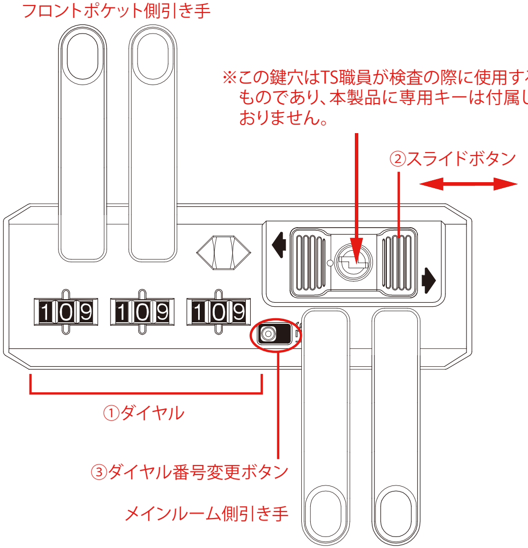


手順 4

②のスライドボタンを矢印の方向にスライドすると、③のダイヤル変更ボタンが元の位置に戻り、登録完了です。

※番号を忘れてしまうと、メーカーでも開けることが困難です。左の欄に登録番号をお控えのうえ、この冊子を保管されることをおすすめします。

【ファスナーロック(フロントオープンタイプ)のご使用方法】



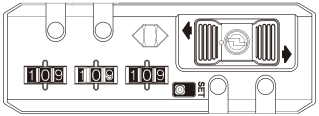
●解錠方法

①のダイヤルを回し、登録のダイヤル番号に合わせます。ご購入時は0-0-0 に登録されています。②のスライドボタンを←左にスライドすると上の引き手（フロントポケット側）が外れ、→右にスライドすると下の引き手(メインルーム側)が外れ、ファスナーを開けられます。

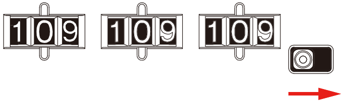
●施錠方法

引き手を挿し込み、登録番号以外に回すと「施錠」されます。

●ダイヤル番号登録手順

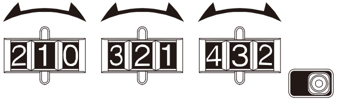


左記の方法でファスナー引き手を外します。



手順 1

ペン先など先の細いものを使い、③のダイヤル番号変更ボタンを→の方向へスライドします。※登録番号（ご購入時 0-0-0）に合っていないと、ダイヤル番号変更ボタンは動きません。



手順 2

①のダイヤルを任意の番号に回します。

手順 3

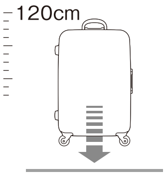
③のダイヤル番号変更ボタンを←の方向へスライドし元の位置に戻すと登録完了です。

※番号を忘れてしまうと、メーカーでも開けることが困難です。左の欄に登録番号をお控えのうえ、この冊子を保管されることをおすすめします。

【強度耐久テスト】

本製品は、使用状況を想定した試験をクリアしています。

落下衝撃テスト

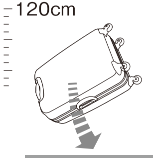


120cm の高さから落下させ、キャスター、フレームおよびボディの強度を測定します。

キャスター走行テスト

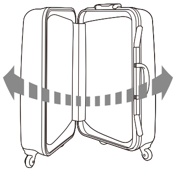
アスファルトの路面を4輪走行、2輪走行で16km走行させ、キャスターの耐久性をテストします。

転落テスト



120cmの高さから、いろいろな角度で落下させ、ボディや各部の耐衝撃性をテストします。

開閉テスト



ケースの開閉を2500回繰り返し行い、ロック、ヒンジ等の耐久性をテストします。

耐寒テスト

-5℃の寒冷状態の中に4時間放置し、耐寒性をテストします。その後、各テストを繰り返し実施します。

ハンドル強度テスト

急な上げ下げ運動を繰り返し、各ハンドルの強度、耐久性を測定します。